

会議開催結果

1 会議の名称	第9回砥部町立中学校統合検討委員会
2 開催日時	平成19年11月26日(月) 午後7時から
3 開催場所	砥部町農業研修センター
4 審議等事項	経過説明 【議案】 1 統合に必要な事項に関する答申(案)について 2 その他
5 出席者名	【委員】 砥部中学校長 本馬 毅 砥部中学校PTA会長 安岡史朗 広田中学校長 水沼節子 広田中学校PTA会長 久保野伸一 玉谷小学校長 長谷美保 広田小学校PTA前会長 山田義秀 高市小学校長 間部量吉 高市小学校PTA会長 清水一徳 広田小学校区長 肥田禎之 玉谷小学校区長 門田行雄 地域審議会委員代表 松永弘幸 砥部中学校教頭 垂水 勉 部中学校副参事 森 厚 【教育長】佐野弘明 【事務局】松村昇二・西松伸一・門田敬三・佐々木毅
6 公開又は非公開の別	公 開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	1人
9 所管課	砥部町教育委員会 学校教育課 電話 962-4820

第9回 砥部町立中学校統合検討委員会 会議録（要旨）

発言者	発言内容
	開会
委員長	<p>前回、答申案につきまして、関係の皆様にご協力いただいた。本日改めてご意見いただきたい。それでは、事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>前回、確認をお願いした答申であるが、広田中学校から「バスの運行は、安全確保を第一に部活動の登下校などその時の状況による柔軟な対応が必要と考えます。」に「休日等を含め、」を追加し「バスの運行は安全確保を第一に、休日等を含め、部活動の登下校などその時の状況による柔軟な対応が必要と考えます。」へ変更して欲しいとの要望があったので報告する。</p>
委員長	<p>事務局の報告を終わる。ご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>保護者の方から、これでは休日の部活動はどうなるか。また、土・日曜日、夏季・冬季休業中を含めて、何か良い条件を入れて欲しいとの意見があり、準備委員会で検討した結果、保護者の意見を反映するため「休日等を含め、」という文言を入れることで意見が一致したため、ご了承いただきたい。</p>
教育長	<p>「休日等を含め、」の文言を入れるかについては、以前に通学方法の検討をしていただく際に、事務局としては、夏季休業中であろうが休日であろうが学校行事・部活時のバス運行は考えの範疇にあるとのお話しをさせていただいた。そのことを具体的に表現してはいないが、「バスの運行はそのときの状況によって柔軟な対応が必要」という表現で一括りにさせていただいた。休日等を配慮していないわけではなかった。広田中学校の保護者の要望としては、はっきりと表現してほしいということだろう。事務局としては休日等のバス運行は範疇にあるということも含めてご検討していただきたい。</p>
委員長	<p>以上のようなことであるが、ご意見ををお願いしたい。</p>
委員長	<p>意見がないためお計りする。バスの運行について前回の提案に「休</p>

	日等を含め、」の文言を付け加えることとするがよろしいか。
委員全員	はい
委員長	それでは理解を得たとする。
委員長	前回、「その他」のことも含めて、ご検討いただくようお願いした が、何かあればご意見をいただき、ご意見が無ければお配りした資 料の内容で答申をさせていただきたい。ご意見をお願いしたい。
委員	(意見なし)
委員長	お計りする。お配りした資料の内容で、教育委員会に対する本委員 会の答申とさせていただく。
委員	(意見なし)
課長	答申の原本については、お手元に配布している文書のとおりである ため、読み上げは省略させていただき、委員長から教育長へ答申書を 渡していただく。
委員長	答申させていただく。
教育長	ありがとうございます。
委員長	なお、その他として意見があればお願いしたい。
課長	先般、広田中学校から記念行事関係の案をいただき、組織の名称に ついて検討させていただいた。結果、閉校に向けて設立し実行する組 織ということから、提案では「広田中学校閉校記念行事推進委員会」 とされているが、閉校行事に向けて実行していく組織であるため、名 称を「広田中学校閉校記念行事実行委員会」に変更させていただきた く、ご了承いただきたい。
課長	委員の構成については、ご提案いただいた案を基に広田中学校と相 談させていただきながら組織を立ち上げ、内容を決めて行きたい。

委員長	<p>ただ今事務局から説明があった内容について、ご意見はないか。無ければ、そのように進めていただくこととする。</p>
委員長	<p>以上で、本委員会の薦めるべき事柄は、大半終わったと思う。教育長の方から、お礼も含め一言お願いしたい。</p>
教育長	<p>一言お礼を申し上げたい。この統合検討委員会は、統合を前提に検討委員会を結成させていただいて丸一年となる。今日を含めた9回の検討委員会では熱心に、様々なことをご検討いただいた。最初には、統合の時期について、皆様あるいは関係者の方々にご検討いただき、平成21年4月から統合するとの答申をいただき、その旨、議会において条例の改正を行った。本日は、その他の提案事項として、通学方法、生徒の心のケア、その他閉校関係事業等について答申をいただき、この答申を尊重して予算の編成に当たりたい。また、理事者との話しも答申に沿った内容で薦めて行かなければならないと思っている。この全体の統合検討委員会としては、一定の方向を示していただいたので、解散というわけではないが、全体で皆さんにご検討いただく委員会は、一度の区切りになろうかと思っている。これからは、閉校記念実行委員会、閉校記念誌編集委員会の2つの委員会組織をもって閉校に向けてのいろいろな検討を行うことになる。全体の統合検討委員会としてお集まりいただく機会は、区切りになるが、多くの方々には、閉校記念実行委員会あるいは閉校記念編集委員会に加わっていただき、ご意見をいただくことになろうかと思う。その時には、適切なご指導をいただきたい。この1年間、本当に慌しい期間で、統合に向けての中身の濃いご意見をいただき本当にお世話になった。ご要望に沿うよう取り組んで参りたいので、今後ともご支援ご協力よろしくお願いしたい。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>私からもお詫びやお礼を申し上げたい。区長として、初めてこの統合の問題を耳にしたのは、18年6月22日の区長会の後の幹事会の時であった。門田委員、向井委員と共に3人でこの話を承り、その時に、門田委員と向井委員が父兄の意見を聞くように申し上げたが、私は素直に「早く統合して欲しい」という孫の願いを申し上げたのを思い出している。そういった中で、委員長を任されるのも皆さんに申し訳ないと考えたが、皆さんの考えに見通しが立ってきたため、今日まで携わらせていただいた。今日で大体のことが終わったと考えている。皆さんのご協力、ご理解があり、改めてお礼を申し上げて今日の会を終</p>

	わらせていただきたい。ありがとうございました。
--	-------------------------

	閉会
--	----